

作業の目的

- ◆りんごの赤色が鮮やかになります。
- ◆つる割れ果・障害果が少なくなります。
- ◆貯蔵力が増します。

- ◆袋かけはできれば6月いっぱい、遅くても7月10日頃までには作業を終えるようにします。
- ◆すす斑病、すす点病対策として、薬剤散布が終了したら、5日以内に袋をかけましょう。

袋について

一発除袋用二重袋と二重袋の2種類があり、一般的には内側と外側が2枚に重なっている二重袋を使用します。

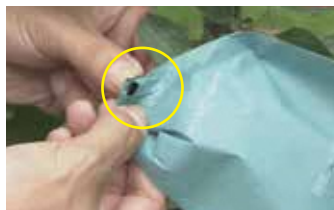
袋かけの手順



①袋の切れている部分をつる元にかける



②袋の口をたたむ



③針金部分を裏へ折り込む



④針金部分を折り返し固定する

〈外袋の袋はぎ〉

- ◆袋をかけてから約75日後から袋はぎを行います。
- ◆外袋は時間帯を気にせず、時期がきたら剥ぎます。
- ◆作業を進める際、剥いだ袋を捨てる入れ物(袋)などを準備しておくとし片付けが楽になります。

外袋の剥ぎ方

真ん中にミシン目が入っているので両サイドから引きます。



〈中袋の袋はぎ〉

- ◆中袋は外袋を剥いでから3日～5日後に剥がします。
- ◆作業は曇りの日、天気の良い日は10時～15時頃までに行います。
- ◆朝の気温の低い時は、中袋剥ぎは控えるようにします。
- ◆気温の低い時に剥ぐと、日焼けの原因となります。
- ◆中袋を剥ぐ時はりんごの色をチェックして、薄いピンク縞が入るか、若干黄ばんできた状態の時に剥ぎます。

中袋の剥ぎ方

薄い紙なので簡単に剥ぐことができます。

